

地域アクションプランの 平成27年度の追加・削除・拡充項目

・追加項目	2
・削除項目	14
・拡充項目	16

地域アクションプランの追加・削除・拡充（予定項目）

■追加

NO.	地域	アクションプラン名	事業概要
1	物部川	No. 26 地域産品を活用したヤ・シィパークを核とする地域の活性化 (香南市) 【実施主体】(株)ヤ・シィ、香南市	ヤ・シィパークの新たな魅力となる施設として、香南市産のメロン、ミカン、文旦などを使用した氷菓と焼き菓子類を製造・販売する加工所兼店舗を整備することにより、地域産品の活用促進による生産農家の所得の向上と、交流人口の拡大を図る。
2	仁淀川	No. 39 柑橘類等地域の農産物を活用した加工品の生産と販売拡大 (越知町) 【実施主体】(株)岡林農園	柑橘類等、越知町をはじめとした地域の農産物を活用した新たな加工品の開発や生産と販売の拡大をさらに進めるとともに、原料の柑橘類の確保に向けた農地及び生産者情報の共有を進める。
3	仁淀川	No. 40 宇佐のアサリ資源を活用した地域の活性化 (土佐市) 【実施主体】宇佐地区協議会・宇佐アサリ垂下式養殖プロジェクトチーム	「かぶせ網」や「海底耕うん」によるアサリ資源の保護・回復を推進するとともに、資源回復後は観光分野への活用を検討する。また、垂下式養殖技術の確立によるアサリの販売促進及び宇佐アサリのブランド化を進める。これらの取組によって、宇佐地域にかつてのような賑わいを取り戻し、地域の活性化につなげていく。
4	幡多	No. 48 幡多広域におけるスポーツツーリズムの推進を核とした交流人口の拡大 (幡多地域全般) 【実施主体】(一社)幡多広域観光協議会、高知県	スポーツと体験型観光等を融合させた観光商品の造成及び受入態勢の整備に取り組むことにより、幡多地域におけるスポーツを核とした交流人口を拡大し、地域の活性化を図る。

■削除

NO.	地域	アクションプラン名	削除する理由
1	高知市	No. 17 地域の食材を活かした包あん食品の開発・製造・販売 (高知市) 【実施主体】(株)高南食品	当該事業者が新たな事業を立ち上げたことに伴い、包あん食品の製造事業を県内の他事業者に引き継いだため、地域アクションプランから削除する。

■その他(拡充)

NO.	地域	アクションプラン名	見直しする内容
1	高知市	No. 8 ユズを核とした中山間農業の活性化 (高知市) 【実施主体】JA 高知市、JA 高知市土佐山柚子生産組合	【拡充】従来のユズ搾汁事業に加え、残渣の活用にも取り組む。事業拡大に伴い、加工販売の役割を担う旭フレッシュ(株)を事業主体に加える。

第2期計画					指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)
			<p>施設整備</p> <ul style="list-style-type: none">基本計画策定実施計画策定施設・設備の整備	<p>加工所兼店舗の開業</p>		
			<p>販路開拓</p> <ul style="list-style-type: none">商品紹介HP製作販促用ツールの作成	<ul style="list-style-type: none">国内商談会参加催事出店開始国内商談会・展示会参加海外テスト販売実施		
			<p>商品開発</p> <ul style="list-style-type: none">試作品の作成製造ラインの構築	<ul style="list-style-type: none">商品発売新商品開発・発売		

追加項目(案)

【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
<p>39 柑橘類等地域の農産物を活用した加工品の生産と販売拡大 《越知町》</p>	<p>柑橘類等、越知町をはじめとした地域の農産物を活用した新たな加工品の開発や生産と販売の拡大をさらに進めるとともに、原料の柑橘類の確保に向けた農地及び生産者情報の共有を進める。</p>	<p>(株)岡林農園</p>			<p>◆農地の確保</p> <p>◆経営分析及び事業計画策定</p> <p>◆新商品開発及び販路開拓</p> <p>◆加工施設の整備</p>

第2期計画					指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)
			農地の確保 契約農家の拡大及び耕作放棄地等での自社栽培の拡大			
			経営分析及び事業計画策定 経営コンサルタントによる経営分析及び事業計画の策定			
				新商品開発及び販路開拓 ・事業計画をふまえた新商品開発と販路開拓 ・経営基盤の強化		
				加工施設の整備 販路拡大及び新商品開発に伴う加工施設の整備		

追加項目(案)

【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
<p>40 宇佐のアサリ資源を活用した地域の活性化 《土佐市》</p>	<p>「かぶせ網」や「海底耕うん」によるアサリ資源の保護・回復を推進するとともに、資源回復後は観光分野への活用を検討する。また、垂下式養殖技術の確立によるアサリの販売促進及び宇佐アサリのブランド化を進める。これらの取組によって、宇佐地域にかつてのような賑わいを取り戻し、地域の活性化につなげていく。</p>	<p>・宇佐地区協議会 ・宇佐アサリ垂下式養殖プロジェクトチーム</p>			<p>◆かぶせ網等によるアサリ資源の保護・管理</p> <p>◆アサリの垂下式養殖</p>

第2期計画					指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)
			<p>かぶせ網等によるアサリ資源の保護・管理</p> <p>資源保護の取組(海底耕うん、かぶせ網等の実施)</p> <p>資源管理の方策(アサリ資源の増殖策(禁漁区の設定、稚貝の間引きや放流)、管理型漁業の確立など)の検討</p>	<p>観光分野への活用検討</p>		
			<p>アサリの垂下式養殖</p> <p>垂下式養殖の体制確立(実証試験の実施・検証)</p>	<p>養殖事業への拡大</p> <p>宇佐の事業者と連携したアサリの販売促進</p>		

水産物加工振興

第2期計画					指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)
			<p>施設整備</p> <p>基本・実施設計</p> <p>人工芝整備工事</p> <p>拡張工事</p>			
			<p>受入態勢の整備</p> <p>ワンストップ窓口機能の整備・運用 (樟多広域観光協議会・6市町村・観光協会等)</p> <p>宿泊受入態勢の整備 (旅館組合、集落活動センター等)</p> <p>スポーツ+体験観光をセットにした観光商品の 造成・受入態勢の整備 (樟多広域観光協議会、観光協会、集落活動セ ンター等)</p>			
			<p>誘致活動の強化</p> <p>関係団体と連携した誘致活動の強化 (高知県、高知県観光コンベンション協会、樟多広 域観光協議会、市町村等)</p> <p>西日本・関東エリアへの誘致活動の展開</p>			

有望素材シート（27年度）（案）

『地域アクションプラン』検討過程での有望素材の洗い出し

市町村名	香南市	素材名 関連素材	ヤ・シィパーク、香南市の農産物
現状・課題	<p>（現状） 「ヤ・シィパーク」は、平成14年に県及び夜須町によって整備された海水浴場や複合商業施設を備えた香南市を代表する複合拠点施設である。その管理・運営を行っているのが、同年設立された株式会社ヤ・シィである。 平成21年に47万人だった来園者は、年々減り続け、夏季の天候不良が続いた昨年は、33万人と大きく落ち込んだ。特に、近年、海水浴場利用者の減少は著しく、若者の海水浴離れや、東日本大震災による沿岸施設への不安、さらに東部自動車道の一部開通などが、利用者減少の要因と考えられる。</p> <p>（課題） ・高知東部自動車道の全面開通後の国道55号の通行量の減少 ・来園者の増加及び閑散期の集客力の向上</p>		
今後の方向性	<p>「目的型施設」であったヤ・シィパークが、「立寄型施設」へと変化している中で、今一度、「目的型施設」として、かつての賑わいを取り戻し、夏場はもとより、通年、利用客が訪れる施設となるようヤ・シィパークへの集客力を向上させるため、新たな魅力として、地域の農産物を活用した特産品を開発し、年間を通じて製造・販売（県内外）を行う。</p>		

「有望素材」を活かした具体的な取り組み（案）

『地域アクションプラン』における具体的な取り組み案

項目	取り組み名	地域産品を活用したヤ・シィパークを核とする地域の活性化
	関係市町村名	香南市

事業の概要
ヤ・シィパークの新たな魅力となる施設として、香南市産のメロン、ミカン、文旦などを使用した氷菓と焼き菓子類を製造・販売する加工所兼店舗を整備することにより、地域産品の活用促進による生産農家の所得の向上と、交流人口の拡大を図る。

事業主体等	<p>【事業主体】 (株)ヤ・シィ、香南市</p> <p>【関係機関】 協同組合やすらぎ市、香南市内の農業者・県内の農業者、JA など</p>
-------	---

	事業実施 【H27】	1年後 【H28】	2年後 【H29】	3年後 【H30以降】
主な内容・スケジュール	施設整備 基本計画策定 実施計画策定 施設・設備等の整備	加工所兼店舗の開業		
	販路開拓 商品紹介HP製作 販促用ツールの作成	国内商談会参加 催事出店開始	国内商談会・展示会参加 海外テスト販売実施	
	商品開発 試作品の作成 製造ラインの構築	商品発売	新商品開発・販売	新商品開発・販売

指標・目標	項目	事業実施 【H27】	1年後 【H28】	2年後 【H29】	3年後 【H30以降】
	売上金額	—	47,355千円	50,423千円	51,431千円
	【設定根拠】	<p>【推計の考え方】</p> <p>積算根拠 ◆カフェ 客数：65人/日×30日×12ヶ月＝23,400人 売上23,400人×600円 ◆ショップ 客数：65人/日×30日×12ヶ月＝23,400人 売上23,400人×700円 計 約30,303千円 ◆外販 生協ギフト：約7,980千円＋ネット販売：約9,072千円＝17,052千円 合計 約47,355千円 ※カフェ・ショップは2年目9%増、3年目以降2%で推移し、外販は3年目まで2%ずつ伸び、その後推移していく見込み</p>			
		【考え方】			

総事業費	60,200千円 (うち27年度 60,200千円)
(内訳 国：	県：40,133千円 市町村：10,033千円 その他：10,334千円)

想定する支援事業（補助金名称、人的支援の内容、その他）	
国：	県：高知県産業振興推進総合支援事業 人的支援：
その他：	

備考	
----	--

有望素材シート（27年度）（案）

『地域アクションプラン』検討過程での有望素材の洗い出し

市町村名	越知町	素材名 関連素材	文旦、小夏、柚子、直七、ポンカン、みかん等
------	-----	-------------	-----------------------

現状・課題	<p><現状> 岡岡林農園は文旦、小夏、柚子等を自社及び契約栽培し、これらを原料とした加工品の製造販売及び青果の販売等、生産・加工・販売を一括して行っている。 加工品事業においては、会社の特徴として越知町をはじめとした県産原料にこだわって、一次加工の果汁の卸売のほか、果汁を使ったドリンクやゼリー、飲むジュレ、ジャム、調味料等を製造、販売しており、県内外の商談会への参加や、近年は海外展開に向けた市場調査やテストマーケティングの実施など販路拡大にも積極的に取り組んでいる。 原料となる柑橘類の生産においては、生産者の高齢化等により耕作放棄地が年々広がる中で、手入れのできなくなった畑の管理の手伝いや貸借による作物の生産などにより原料の確保に取り組み、農地を守るための人材育成などの仕組みづくりも進めている。</p> <p><課題> ・生産体制構築に向けた経営基盤の強化 ・生産、加工、販売等それぞれの業務に携わる人材の育成・確保 ・生産拡大に向けた農地の確保 ・市場ニーズに対応した新商品の開発及び生産体制の構築</p>
今後の方向性	<p>越知町産等の農産物を原料とした食品加工の拠点を整備することで、農業を含めた越知町の産業振興を推進し、新たな雇用の創出による移住・定住につなげる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農地の維持を念頭においた柑橘類等原料の確保 ・生産体制の強化に向けた経営改善及び事業運営 ・地域の農産物の特性を生かした食品加工のための拠点整備

「有望素材」を活かした具体的な取り組み（案）

『地域アクションプラン』における具体的な取り組み案

項目	取り組み名	柑橘類等地域の農産物を活用した加工品の生産と販路拡大
	関係市町村名	越知町

事業の概要	<p>柑橘類等、越知町をはじめとした地域の農産物を活用した新たな加工品の開発や生産と販売の拡大をさらに進めるとともに、原料の柑橘類の確保に向けた農地及び生産者情報の共有を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町と事業主体が農地情報を共有し、耕作放棄の予防策として新たに確保する契約栽培地や借地での柑橘類等の栽培面積を拡大 ・専門家のアドバイスにより経営基盤の強化を図るとともに、商品開発等の事業計画を策定 ・新商品開発や、既存商品の販路拡大に伴う需要増に対応するための食品加工施設整備の検討 ・町の移住施策等との連携により、生産、加工、販売等各部門の担い手確保を進める。
-------	---

事業主体等	<p>【事業主体】 (株)岡岡林農園</p> <p>【関係機関】 越知町</p>
-------	--

取組手順	事業実施【H27】	1年後【H28】	2年後【H29】	3年後【H30以降】	
農地の確保	・契約農家の拡大及び耕作放棄地等での自社栽培の拡大	→			
経営分析及び事業計画策定	・経営コンサルタントによる経営分析及び事業計画の策定				
新商品開発及び販路開拓		・事業計画をふまえた新商品開発と販路開拓 ・経営基盤の強化	→		
加工施設の整備				・販路拡大及び新商品開発に伴う加工施設の整備	

項目	事業実施【H27】	1年後【H28】	2年後【H29】	3年後【H30以降】
【設定根拠】	【推計の考え方】 H27年度後半に経営分析を実施し、事業計画を策定する予定のため、次期計画において具体的な数値目標を設定する。			
	【考え方】			

総事業費	3,413千円（うち27年度 3,413千円）
	（内 国： 県：1,706千円 市町村： その他：1,707千円）
想定する支援事業（補助金名称、人的支援の内容、その他）	
	国： 県：高知県産果類振興推進総合支援事業費補助金（ステップアップ事業） 人的支援：
	その他：

備考	
----	--

有望素材シート（27年度）（案）

様式4

『地域アクションプラン』検討過程での有望素材の洗い出し

市町村名	土佐市	素材名	アサリ
		関連素材	
現状・課題	<p><現状> ○浦ノ内湾におけるアサリの漁獲量は、昭和58年頃の約2,800tをピークに減少傾向が続いており、近年では平成24年に約7t、平成25年に約5tと大きく落ち込んでいる。アサリ減少の要因としては、アオサやホトトギス貝の増殖による生育阻害、外敵による被害などの複合的要因があると考えられており、以前は潮干狩りで賑わった天王洲も昔の面影はない。 現在、天王洲全体を含む約26haをアサリの禁漁区域に指定し、水産試験場や漁協、住民団体等がアサリの資源保護・回復に向けた取り組みを行っている。 ○民間事業者が平成26年6月からアサリの垂下式養殖に着手。現在、事業化に向けて実証試験的な取り組みを行っている。</p> <p><課題> ○アサリ資源を保護・回復させるための効果的な手法の確立 ○アサリ資源の管理 ○観光やビジネスとしての活用</p>		
今後の方向性	<p>○アサリ資源の保護・回復に効果的と考えられる「かぶせ網（※1）」や「海底耕うん（※2）」を継続して実施する。 ○アサリ資源の管理（間引き後の放流）により放卵量を増加させ、将来的な観光分野への活用を検討する。 ○宇佐のアサリで外貨を獲得するため、資源の保護に影響なく継続的な取り組みが可能な「垂下式養殖（※3）」を確立する。</p>		

「有望素材」を活かした具体的な取り組み（案）

『地域アクションプラン』における具体的な取り組み案

項目	取り組み名	宇佐のアサリ資源を活用した地域の活性化			
	関係市町村名	土佐市			
事業の概要	<p>「かぶせ網」や「海底耕うん」によるアサリ資源の保護・回復を推進するとともに、資源回復後は観光分野への活用を検討する。また、垂下式養殖技術の確立によるアサリの販売促進及び宇佐アサリのブランド化を進める。これらの取組によって、宇佐地域にかつてのような賑わいを取り戻し、地域の活性化につなげていく。</p> <p>かぶせ網（※1）：干潟に網をかぶせ、エイやチヌなどの外敵からアサリの稚貝を保護する方法 海底耕うん（※2）：アサリに最適な生育環境を整えるため、海底を耕うんすること。 垂下式養殖（※3）：ケアシェル（カキ殻加工成形物）を活用してアサリ稚貝を天然採苗した後、その採苗ネットを容器（たらい）にセットし、筏から垂下する養殖方法</p>				
事業主体等	<p>【事業主体】 ①宇佐地区協議会（漁協（宇佐統括支所・深浦支所）、漁業者、アサリ販売業者他） ②宇佐アサリ垂下式養殖プロジェクトチーム（黒木商店、吉永鯉節店、宇佐もん工房、奥田釣具店、漁協（宇佐統括支所）、漁業者、地域おこし協力隊他）</p> <p>【関係機関】 ○県漁協宇佐統括支所 ○土佐市産業経済課・水産課 ○水産試験場 ○土佐市商工会など</p>				
主な内容・スケジュール	取組手順	事業実施【H27】	1年後【H28】	2年後【H29】	3年後【H30以降】
	<p>○かぶせ網等によるアサリ資源の保護・管理</p> <p>○アサリの垂下式養殖</p>	<p>資源保護の取組（海底耕うん、かぶせ網等の実施）</p> <p>資源管理の方策（アサリ資源の増殖策（禁漁区の設定、稚貝の間引きや放流）、管理型漁業の確立など）の検討</p> <p>観光分野への活用検討</p> <p>垂下式養殖の体制確立（実証試験の実施・検証）</p> <p>養殖事業の拡大</p> <p>宇佐の事業者と連携したアサリ販売促進</p>			
指標・目標	項目	事業実施【H27】	1年後【H28】	2年後【H29】	3年後【H30以降】
	<p>○かぶせ網によるアサリ資源の増加量：18,000kg</p> <p>○垂下式養殖によるアサリの出荷量：2,800kg</p>	-	6,000kg	12,000kg	18,000kg
仕分	【設定根拠】	【推計の考え方】			
		<p>○アサリ資源の増加量：かぶせ網の設置面積を年間約2,000㎡拡大し、それに応じてアサリ資源が増加（3kg/m²の増を見込む）。 ○アサリ出荷量：筏1台の養殖能力は700kg。H29年に筏を2台に、H30年に筏を4台に増設する。</p>			
総事業費等	総事業費（内訳 国： 県：千円 市町村： 其他：千円）	千円（うち27年度 千円）			
	想定する支援事業（補助金名称、人的支援の内容、その他）	<p>国： 県：産業振興推進総合支援事業 人的支援： 其他：</p>			
備考	<p>かぶせ網等によるアサリ資源の保護・管理の取り組みは現在、国庫補助を活用中である。アサリの垂下式養殖については、1サイクルまわしてその結果を検証するため実証試験的に取り組んでおり、市からは垂下式養殖に必要な資材等の支援（市単補助）を受けている。これらの取組状況をもとに今後、産振総合補助金等の活用も視野に入れ事業化を進める。</p>				

有望素材シート（27年度）（案）

『地域アクションプラン』検討過程での有望素材の洗い出し

市町村名	幡多地域6市町村	素材名 関連素材	幡多広域におけるスポーツツーリズムの推進を核とした交流人口の拡大
------	----------	-------------	----------------------------------

現状・課題	<p><現状></p> <ul style="list-style-type: none"> 高知県の西部地域のスポーツによる入込数は、平成26年度実績で、4,600人となっており、平成33年度までに4,400人増とする目標を定め取組んでいる。 また、幡多広域観光協議会においても、平成26年度に「幡多広域観光振興計画」を策定して、各市町村と連携してスポーツツーリズムに取組むこととしている。 平成24年度からは、砂浜美術館を中心とした積極的な誘致活動により、サッカー等の合宿や大会等を開催し、宿泊実績が大幅に伸びてきた。（黒潮町の県外宿泊数の実績：H23：294泊→H26：4,001泊） サッカー合宿等のニーズは高いが、現状の施設では受入が飽和状態になっており、受入を断っている状況（H24：10件、H25：12件、H26：15件→関西圏：8割、中四国：2割） <p><課題></p> <ol style="list-style-type: none"> 新規の合宿、大会等の誘致が困難 <ul style="list-style-type: none"> 幡多エリアには、天然芝のグラウンドしかなく、雨天時や天然芝の養生期間にグラウンドを使用できない期間が発生するため、受入の機会を逃す状況が発生している。 幡多広域エリアでの受入態勢が確立していない。 <ul style="list-style-type: none"> 現在、単独市町村単位では受入を行っているが、幡多広域エリア全体で受入の仕組みや態勢が確立していない。 幡多地域全体でのスポーツ誘致をPRする仕組みができていない。 広域連携を調整できる窓口がない。 スポーツ合宿等から一般観光へ誘客する仕組み（商品化）ができていないため、地域への経済波及効果の広がりが少ない。 <ul style="list-style-type: none"> 小・中学生を中心にした団体では、スポーツ合宿等に加えて体験型観光を希望する団体もあるが、スポーツと体験型観光をセットにしたプランは商品化されていない。
	今後の方向性

『有望素材』を活かした具体的な取り組み（案）

『地域アクションプラン』における具体的な取り組み案

項目	取り組み名	幡多広域におけるスポーツツーリズムの推進を核とした交流人口の拡大
	関係市町村名	黒潮町、四万十市、宿毛市、土佐清水市、大月町、三原村

事業の概要	<p>スポーツと体験型観光等を融合させた観光商品の造成及び受入態勢の整備に取り組むことにより、幡多地域におけるスポーツを核とした交流人口を拡大し、地域の活性化を図る。</p> <p><県立西南大規模公園多目的グラウンドへの人工芝整備></p> <ul style="list-style-type: none"> 高知県が人工芝を2面整備を行う。 <p><受入態勢の整備></p> <ul style="list-style-type: none"> ワンストップ窓口機能の整備・運用 宿泊受入態勢の整備 スポーツ+体験観光をセットにした観光商品の造成・受入態勢の整備 <p><誘致活動の強化></p> <ul style="list-style-type: none"> 関係団体と連携した誘致活動の強化 誘致活動の展開
-------	---

事業主体	<p>【事業主体】（一社）幡多広域観光協議会、高知県</p> <p>【関係機関】黒潮町、四万十市、宿毛市、土佐清水市、大月町、三原村、各市町村の観光協会、旅館組合、集落活動センター等</p>
------	---

取組手順	事業実施（開始年度） 【H27】	1年後 【H28】	2年後 【H29】	3年後 【H30】	4年後 【H31以降】
施設整備 （県立西南大規模公園多目的グラウンド施設整備）	基本・実施設計	人工芝整備工事 ※工事完了後受入開始	拡張工事 →施設整備完了		
受入体制の整備	ワンストップ窓口機能の整備・運用（幡多広域観光協議会・6市町村・観光協会等）				
	宿泊受入態勢の整備（旅館組合、集落活動センター等）				
	スポーツ+体験観光をセットにした観光商品の造成・受入態勢の整備（幡多広域観光協議会、観光協会、集落活動センター等）				
誘致活動の強化	関係団体と連携した誘致活動の強化（高知県観光コンベンション協会、市町村等）				
	西日本・関東エリアへの誘致活動の展開				

項目	事業実施（開始年度） 【H27】	1年後 【H28】	2年後 【H29】	3年後 【H30】	4年後 【H31以降】
入込客数（人）	4,866	5,291	6,351	7,411	8,470
直接的経済効果（千円）	62,328	67,772	81,349	94,927	108,492
【設定根拠】	<p>【推計の考え方】</p> <p><入込客数></p> <ul style="list-style-type: none"> 県のスポーツによる県外入込に関する県目標（H33末）の西部地域分9,000人をもとに年次別推移を試算した。 <p><直接的経済効果></p> <ul style="list-style-type: none"> ○試算方法：入込客数 × 一人当たりの平均経費 ・スポーツ関連の宿泊実績（県内外）データがある黒潮町（H26）データを参考に推計。 ・スポーツによる県外入込客の一人当たりの平均経費 <p>4,001泊（述べ宿泊数）×7,200円（宿泊費+昼食代+その他）÷2,249人（H26県外宿泊者実数）=12,809円</p>				

総事業費 （内訳 国： 県：10,588千円 市町村： 9月補正での対応を予定 その他：)	10,588千円	（うち27年度 10,588千円）	
想定する支援事業：（補助金名称、人的支援の内容、その他）	国： 県：多目的グラウンド人工芝化実施設計委託業務	人的支援：	
備考			

削除項目(案)

【高知市地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
17	地域の食材を活かした包あん食品の開発・製造・販売	(株)高南食品	<ul style="list-style-type: none"> ・包あん機等の機械設備を導入、OEMの大福を製造開始(H24) ・OEM大福の販促活動(H25～26) ・自社ブランドで文旦大福、生薑大福を商品化、販売開始(H25) ◆文旦や生薑の大福のほか、OEMでは地域特産の豆や茶を活用した大福を製造し、地域の特産品づくりにも寄与している。 	・新たな販路開拓と新商品の開発	◆農産物を中心とする地域の食材を活用した包あん食品の開発・製造・販売



削除

第2期計画					H28以降	指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	指標		目標値(H27)	
農産物を中心とする地域の食材を活用した包あん食品の開発・製造・販売					→	包あん食品の売上	9,000万円
設備の導入	包あん食品開発・製造・販売						



削除

第2期計画					H28以降	指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	指標		目標値(H27)	
農産物を中心とする地域の食材を活用した包あん食品の開発・製造・販売					→	包あん食品の売上	9,000万円
設備の導入	包あん食品開発・製造・販売						

